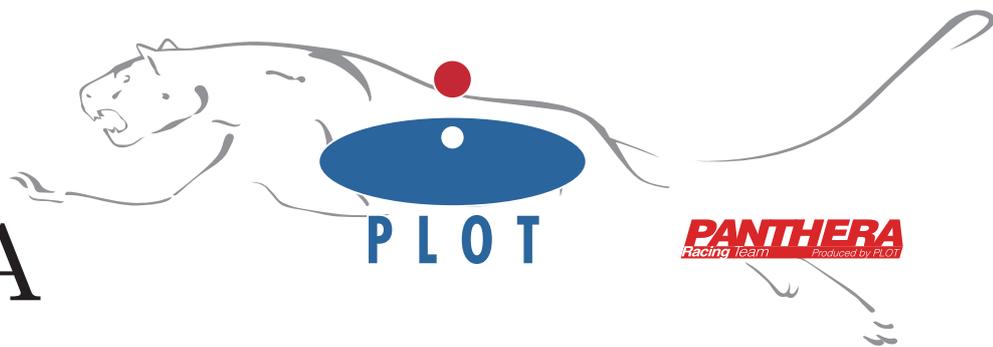


PLOT FARO PANTHERA

Round.2
TSUKUBA

JSB1000 #15

予選レポート

5/10-SAT ウェット



フリーのドライコンディションとはうって変わって、ウェットコンディションでの予選となる。フリーでは57秒台を出しているながらも、雨と共に風が強くなり気温も下がる難しいコンディション、前テストからウェットコンディションでのセッティングが詰め切れておらず、苦しい予選となる。今までに無い24台中21番手と言う厳しい予選結果となった。

決勝レポート

5/11-SUN ドライ

真後ろには最後尾の岡田忠之選手が控えるポジションでのスタート。スタートダッシュを狙うべく気合のスタートを切るが失敗。後列の3台にも抜かれ、スタート直後に最後尾となる最悪のスタートとなったが、第1コーナーから攻めの走りを展開。続く1ヘア、2ヘア、最終コーナーをクリアする今野。なんと僅か1週目で16番手までのポジションアップを成功させ、団子状態のまま2週目に突入する。10週目にその団子状態の中から抜け出し、更に14番手へとポジションを上げる。これ以降も今野は果敢に攻め続け、上位陣のタイムに迫る57秒台を連発。13週目には前を走るゼッケン71番の高橋孝臣をパス。この時点で前を行くゼッケン81番の佐藤裕児との差は5秒以上。今野の追い上げは間を空ける事無く続き、19週目にはついに佐藤を捕らえる。そこからの12番手争いは拮抗した状態が続き、今野は高い集中力を維持した状態のハイスピードバトルは最終ラップへと突入した。迎えた最終ラップの第1ヘアピン、遂に今野は佐藤をパスする事に成功。21番手スタートのレースで12位まで順位を上げる結果を残した。

今野コメント

予選は結果を出す事ができず、21番手スタートという最悪の状態。決勝は抜き続けるしかなく、集中を切らず事無く攻め続けました。次回につながる走りができたと思います。



JSB1000 決勝 12位

予選レポート

5/10-SAT ウェット

前日のフリー走行で車体トラブルにより2度の転倒。トラブルは解決できないまま終える。ウェットコンディションで迎えた予選1回目、やはりトラブルは解決できず、タイムも伸び悩む状態となる。予選2回目までに大幅なセッティング変更を決行。これが見事に当たり25分の短い時間の中、B組トップタイムの争奪戦に加わる事ができた。

途中、若干のセッティング変更を加え、最後のスーパーラップに気合を入れ、フロントローを狙いに出て行く寺本。しかしその周回で転倒車が発生、ライン上には砂とガソリン。寺本はスーパーラップのチャンスを奪われるような形で予選終了となる。結果、総合4番手タイムの5番グリッドからのスタートを決める。

決勝レポート

5/11-SUN ドライ



トラブルを解決し、スタート前からトップ争いを宣言する寺本はその宣言どおりロケットスタートを成功させる。第1コーナーを3番手で通過するが、この時寺本はタイヤからのインフォメーションに違和感を感じていた。前2台から若干離されて行き、後ろから迫るゼッケン5番の武田 雄一とのバトルに突入していく。ゼッケン2番高橋 英倫の転倒により、武田、寺本の争いは2番手争いとなる。徐々に武田のペースは落ち、寺本はトップ小西 良輝の追撃を開始する。寺本が追い上げれば小西も逃げる、技術を持ったライダー同士はこう着状態のまま、両者チェッカーを受ける事となった。寺本は最終的に2位でフィニッシュラインを通過するもレース終了後に大会特別規則 22-1-2違反（マーキングされていないタイヤの使用）により、国内競技規則 31-1-4（失格）を適用となり、失格となる。

ST600 決勝 失格

寺本コメント

結果としては残念な物となりましたが、新しいチームと自分とのパッケージの強さは証明できたと思います。次は一番高い所に登り、このフラストレーションを晴らします。

ウェット宣言中であった為、チームの勘違いからマーキングのされていないタイヤを使用し、ライダーを始め応援して下さった皆様には大変申し訳ない結果となってしまった事を深くお詫びします。

SPECIAL THANKS

